

第2回地本・支部役員セミナー開催 議員を身近に感じ講演は大盛況

中央本部は4月6日、中央本部会議室で2023年度第2回地本・支部役員セミナーを開催し、中央本部役員、各地方本部・支部役員の22名が参加した。

第1部の「政治への関心の低下」では、JR連合の「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」に参画していただいている、立憲民主党の城井崇(きいたかし)衆議院議員(福岡10区)を講師に招き、最近の情勢報告を含め講演をしていただいた。

講演では、年齢に関わらずその世代に合わせた視点を持ち、話しをしていくことの大切さについて言及し、「若い世代の政治への関心の低下という言葉は聞くが、実際は若い世代に直接関係するような政策が政治には足りていないのではないか。若者の政治離れではなく、政治の若者離れになっていないか。」との観点から、若い世代にむけての政策として、「もっと良い子ども・子育てビジョン」の策定に党として取り組んでいることが紹介された。

続いて、議員を身近に感じてもらいたいということで、普段の生活や議員活動の様子、趣味などについて「衆議院議員きいたかしさんに聞きたい20の質問」と題して、ざっくばらんに語っていただき、様々な経験や他の議員とのエピソードなど、普段あまり聞くことがない話に会場は大いに盛り上がった。

第2部の「分会の活性化について」では、中央本部の青木教育・広報部長が労働組合の目的や活動の原点は分会活動であること、分会活動への地本・支部役員としての関わりや組合員とのコミュニケーションの必要性などについて説明するとともに、世話役活動に並ぶ重要な活動である安全衛生委員会についても意義や内容について、全体で認識を共有した。



講演する城井崇衆議院議員